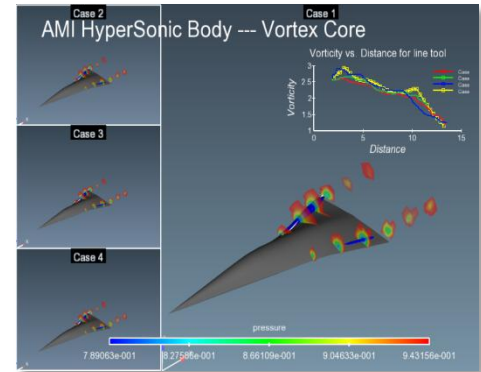


EnSight 補足資料

# ケースリンク

Case Linking

サイバネットシステム株式会社



つくる情熱を、支える情熱。  
**CYBERNET**

## はじめに

ケースリンク(Case Linking) は、バージョン10.1から実装された機能で、複数データ比較能力の強化をターゲットにしています。

複数データの読込において前のデータと同じ可視化を自動的にを行い、尚且つ可視化、その他ポスト処理をあらゆる面における操作を複数のデータで共有することで、これまで煩雑で冗長だった同時比較作業が大幅に簡素化されます。

機能の具体的な利用方法等については下記頁を御覧ください。

### 目次

- ・ケースリンクの利用方法
- ・ケースリンクを有効にしてデータを追加すると・・・
- ・共有される操作
- ・利用できる条件、制限事項

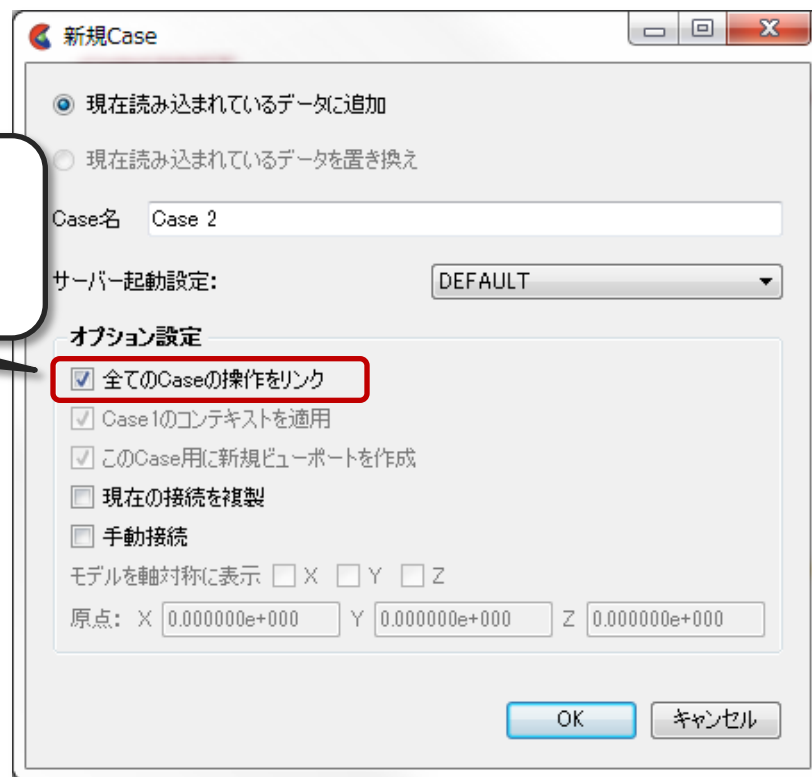
## ケースリンクの利用方法

追加データの読み込み時、[新規Case]パネルの[現在読み込まれているデータに追加]オプションを選択すると、[オプション設定]に **[全てのCaseの操作をリンク]** というオプションが表示されます。



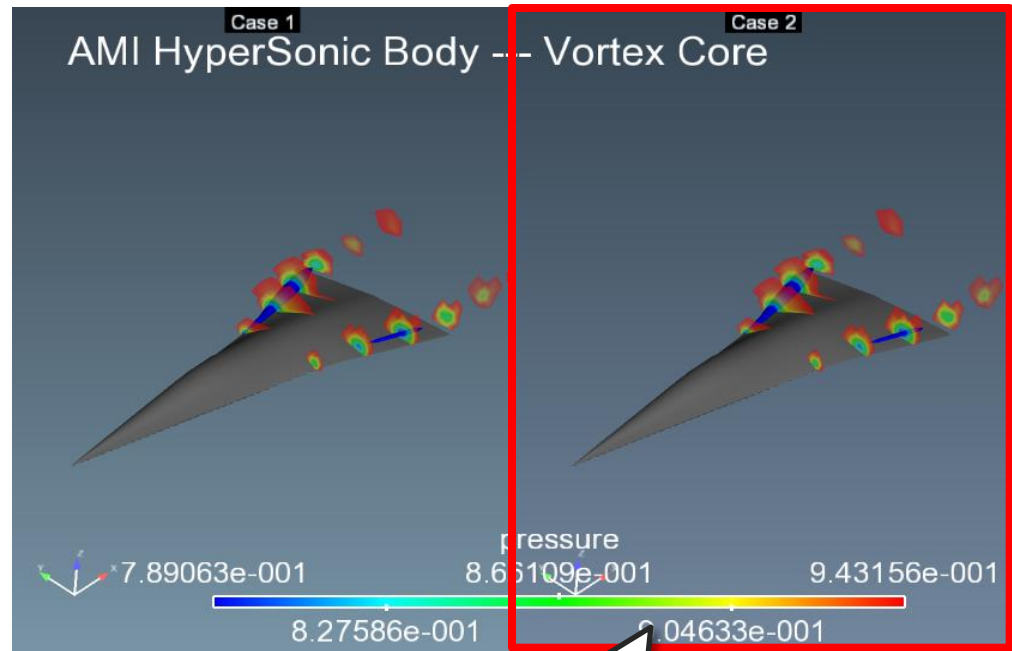
オプションを**ON**にすることで  
ケースリンク機能が有効になります。

この設定で追加データを読み込むと・・・  
(次頁へ)



## ケースリンクを有効にしてデータを追加すると・・・

- 最初に可視化されていたデータの可視化をそのまま追加データに適用します。
- ビューポートが新規作成されて、データの個数に応じて自動レイアウトされます。



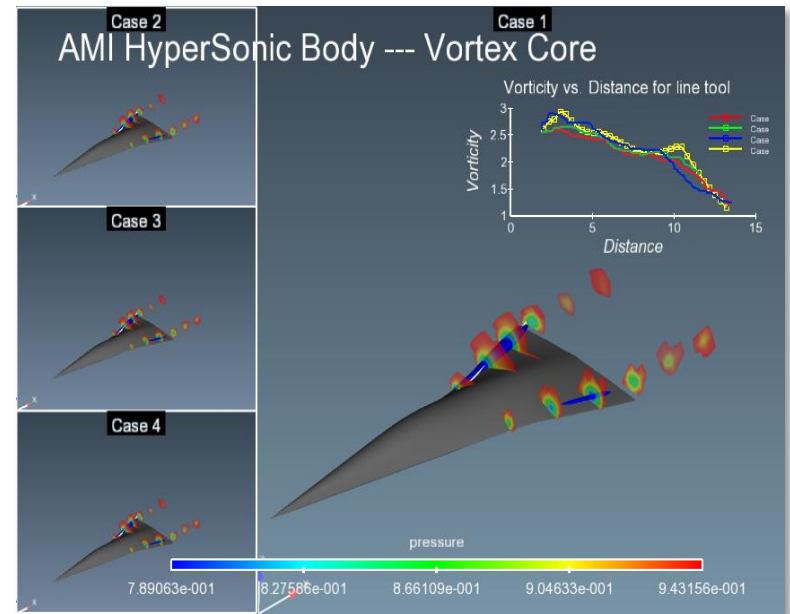
※共有される操作について  
(次頁)

追加されたデータの表示

## 共有される操作

ケースリンクが有効な場合、全てのCaseで以下の操作が共有されます。

- 幾何変換
- パート属性の変更
- 可視化パートの生成
- 変数の生成 (計算機等による)
- クエリ/プロット機能 (全データ同時比較)
- インタラクティブクエリ機能のクエリ点設定 (全ビューポートで共通の位置を参照)



## 利用条件、制限事項

### 利用条件：

ケースリンクを利用できるデータには以下の条件が付きます。

- 全データは、同じ数と名前のパートを持つ
- ケース間で同じ名前の変数を持つ。
- 各パートのメッシュは、同じ次元である。

### 制限事項：

10.1の初期リリース版10.1.4(a)では、同時比較可能データ数4の制限が暫定的に掛かっており、後のバージョンで修正される予定です。

ケースリンクは、今後も継続して機能、性能の両面での拡張を予定しています。

ご利用上の注意：

本書中の解説、及び、図、表は文書による許可なしに、その全体または一部を無断で使用、複製することはできません。

このドキュメントに記載されている事柄は、将来予告無しに変更される事があります。なお、サイバネットでは記載内容に関して正確であることに努めていますが、本書の利用に関して生じた損害については法律上のいかなる責任も負いません。

EnSight は米国 CEI 社の商標です。  
上記以外の製品名も一般に開発各社の商標、あるいは登録商標です。

サイバネットシステム株式会社